第3回高エネルギー物理学将来検討小委員会、2009年9月5日

SK future 大気v、太陽v、Gd



中畑 雅行 神岡宇宙素粒子研究施設/ 数物連携宇宙研究機構

Super-Kamiokandeの歴史



大気v:現状のまとめ

- ニュートリノ振動解析
 - SK-IIIを追加。
 - 2806days (173ktonyr) for FC+PC
 - 3109days for up-mu
 - sin²20>0.95, 0.0017<|∆m²|<0.0026 eV² (90% CL)
 - 加速器実験(MINOS、sin²20>0.85, 0.0021<|△m²|<0.0027 eV²)と相補的。混合 角はSKから強い制限。
 - sin²θ13<0.07 (3世代解析、90%CL)
 - 今後full振動解析(3つの混合角とCPδ全てを 考慮)を行う予定。

Exotic Modelの検証 v Decoherence **5.4**σ 4.4σ v Decav 7.3σ $\nu\mu \rightarrow \nu s$ MaVaN models **3.5-3.8**σ <6.5x10⁻³ Flavor Changing NC <5.0x10⁻² lepton universality



- WIMP起源のµ flux上限値:
 - <4.1-8.8x10⁻¹⁵/cm²/sec(Mwimp=10GeV)
 - <2.7-4.1x10⁻¹⁵/cm²/sec(Mwimp=10TeV)
- GRB080319B APJ 697 (2009) 730

大気v将来:有限のθ₁₃の探索





もしθ13がCHOOZ limitの近くにあれば,有限のθ13 が SKの大気ニュートリノで観測できる可能性がある。



1.8 Mton・yr = 3.3yr HK (SK80年分に相当。20年分だ と統計1/4で有意性は1/2)

答えが正の階層性の場合



SK 20年分のデータの場合は、3σ () 1.5σ

質量階層性への感度(2)

1.8 Mton·yr = 3.3yr HK (SK80年分に相当。20年分だ と統計1/4で有意性は1/2)

答えが負の階層性の場合



SK 20年分のデータの場合は、3σ ◊ 1.5σ







Sensitivity of the upturn measurement



(1) Enlarge fiducial volume to 22.5kton with low B.G.

(2) Half energy correlated systematic error as SK-1.

The black line shows the 13.3kton (<5.5MeV), 22.5kton (>5.5MeV) fiducial volume with the same energy correlated error as SK-1 Y.Koshio



我々の銀河で超新星爆発が起きた場合

| | | # of events are for 10kpc SN |
|------------|--|--|
| Super- | 32,000 tons of water target. | assuming Livermore spectrum. |
| Kamiokande | ~7300 ve→ve 散乱事象 精密なve スペクトルとve散乱事象による方向性 | |
| | | |
| LVD | 1000 ton liquid scintillator. 840 counters 1.5m ³ each. 4 MeV thres., ~50% eff. for tagging decayed signal. ~300 $\overline{v_e}p$ → e ⁺ n 事象. | |
| | | |
| | | |
| KamLAND, | 1000 ton liquid scintillator, single volume. $\sim 300 \overline{v}_{e} p$, | |
| SNO+ | several 10 CC on ¹² C, ~60 NC γ , ~300 vp \rightarrow vp NC \oplus | |
| | 象. vp NCイベントによるテ | _{このvx} 温度の見積もり |
| BOREXINO | 300 ton liquid scintillator, single volume. $\sim 100 \overline{v}_{e} p$, | |
| | ~10 CC on ¹² C, ~20 NC γ, ~ | $-100 \text{ vp} \rightarrow \text{vp NC evts.}$ |
| | vp NCイベントによる元のv | x 温度の見積もり |
| ICECUBE | Gigaton ice target. PMTノイズレートが一斉にあがる。 | |
| | ~0.75% statistical error at 0.5s and 100ms bin for 10kpc | |
| | SN. | |

我々の銀河内での超新星までの距離

Mirizzi, Raffelt and Serpico, JCAP 0605,012(2006), astro-ph/0604300

Based on birth location of neutron stars



<u>超新星背景ニュートリノ</u>

宇宙には10²⁰個の恒星がある。(10⁹個の銀河、10¹¹星/銀河) 全恒星の約0.3%が超新星爆発に至る。 したがって、宇宙の開闢から今までに約10¹⁷回の超新星爆発がおき てきたことになる。それにともなうニュートリノ(超新星背景ニュートリ ノ)は宇宙に満ちている。



<u>超新星背景ニュートリノのスペクトル</u> (理論的な計算) zはビッグバンからの時間をあらわし、大きいほ ど宇宙の初期をあらわす。 超新星背景ニュートリノ(Supernova Relic Neutrino(SRN))が観測されれば、 宇宙の初めからの重元素合成の歴史 を探ることができる。

<u>超新星背景ニュートリノ(SRN)のスペクトル</u>



<u>SK-I、SK-IIのエネルギースペクトル (>18MeV)</u>



SK-II(791 days)



観測されたスペクトルは期待されるバックグラウンドスペクトル を良くあっている。



<u>ガドリニウムによる中性子タグ</u>



<u>v</u>。を中性子との同時計測で同定し、バックグラウンドを落とす。



Relic model: S.Ando, K.Sato, and T.Totani, Astropart.Phys.18, 307(2003) with flux revise in NNN05.

もし、invisible muon バックグラウンドが中性子タグで落とせれば、



Gd中性子タグを用いた原子炉ニュートリノ



振動パラメータの測定感度(10年データ)



<u>SKへGdを入れるための準備</u>

◆水の透過率に与える影響をスタディ SKでの他の物理に影響を与えないように透過率は十分長くないといけ ない。 ◆純水装置の改造 現純水装置ではイオンを取り除いてしまうので、ガドリニウムをとらずに 水を純化できるように純水装置を改造しなければならない。 ◆Gd化合物による腐食 Gd化合物がタンク構造体、PMT材料を腐食させないか確認。 ♦Gdの導入方法/除去方法のスタディ タンク内に一様に混合させる方法は? タンクから出す場合にどうすれ ば、迅速に、経済的に取り除くことができるか? ◆環境の中性子線が多数のイベントを作ることはないか? 環境中性子線の現象が太陽ニュートリノ観測などに影響を与えない か?

直径6mぐらいのテスト水タンクを作って以上のことをスタディする。

ガドリニウムテスト用のタンク



化方法の検討、腐食の有無など。

まとめ

大気ニュートリノ

- <u>太陽ニュートリノ</u>
 - 振動パラメータの精密測定。原子炉vとの比較。
 - 物質効果によるスペクトルの歪みを測定。
- <u>超新星爆発ニュートリノ</u>
 - 銀河系内で起きてくれれば、高統計観測。
- 超新星背景ニュートリノ
 - もし、観測できれば星形成の歴史を探ることができる。
 - 期待されるニュートリノ強度が弱いため、SKクラスの質 量と中性子をタグする技術が必要。
 - SKにGdを入れるG&Dが進んでいる。

SK-IVでインストールされた新電子回路, QBEE



新電子回路のデータ収集システム(旧システムとの違い)

旧システム:ハードウェアトリガー -> データ取り込み



新システム: 全データ取り込み → ソフトウェアトリガー









10kpcでの超新星を過程。



モデルの識別ができるほどの高統計

<u>超新星との方向分布による電子散乱事象の選別</u>





中性カレントガンマ線事象などを使って切り分けができる。

Test neutron tagging at Super-K





Tagging efficiency and BG reduction

SRN



at 10 MeV.

4,531 10³ MC simulation 10² 10 92 % 1 0 2 12 10 Recon. Energy [MeX]rrent single BG rate (mainly due to 10² spallation and splar ⁸B) SSM(B (efficiences are considered) ^{ѻѻѻ}ѻѻ_ѻѻ 10 12 8 10 14 18 20 6 16 predictions Energy (MeV)

Energy spectrum